

## 第 1 回 S S H 国際交流講演会 “Ecuador and Her Biodiversity”

令和 6 年 5 月 8 日(水)16:00~17:00 に、5 階多目的教室 AB で第 1 回 S S H 国際交流講演会が実施され、1 年生 17 名、2 年生 49 名が参加しました。今年度最初の講演会の講師は、本校の ALT である、Denisse Ramirez 先生で、タイトルは “Ecuador and Her Biodiversity” でした。

今回の講演内容は、はじめにエクアドルの生物多様性について、エクアドルは世界に 17 カ国しかないメガダイバーシティの国の 1 つであることとその重要性、次に、エクアドルの 4 つの地域それぞれの地理的特色や生息動物について、そして日本とエクアドルとの比較、最後に、エクアドルの憲法に定められた人権のように自然にも独自の権利を与えるという自然権とそれをめぐるエクアドルでの環境問題についてでした。今回の講演会を通して、気候や生物などのその国の自然は文化にもつながっているということ学びました。また、地球温暖化などの様々な環境問題の解決に向けて私たちに何ができるのかということ改めて考える機会となりました。



### 【Q & A】

Q 「ガラパゴス諸島を訪れる際に気をつけるべきことは何か。」

A 「生物多様性を守るために、食べ物を持ち込まないなどのルールがある。インターネット上のウェブサイトに記載されているため確認してから行くと良い。」

Q 「環境保全と開発のどちらを優先すべきか。」

A 「どちらの立場にも譲れない理由があるため、どちらだけを優先させるのではなく両方を考えていく必要がある。」

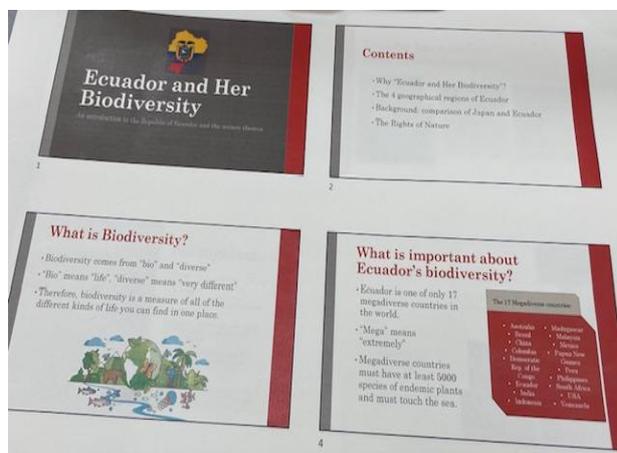
### 【参加者の感想】

土地が違えば生態系は違い、環境が違えば人の考え方が違うことを再認識することができました。縄文土器と valdivia(地名)が似ていることに興味が湧いたので詳しく知りたいです。人間が一度自然から手を引き、自然由来の治癒力に環境保全を任せるのが一番の環境保護だと思いました。(二年)

今回、「自然にも多様性があること」「自然に燃えるべき権利があること」を学び、気づかなかった視点を養うことができ嬉しかったです。今後は世界の細やかな場所にまで目を向けていこうと思いました。（二年）

- ・エクアドルに行って自然とたくさん触れ合いたいと思いました。（二年）
- ・エクアドルの地域ごとの文化についてもっと調べてみたくなりました、また「自然の権利」という言葉を初めて聞いたので、他の環境保護の考え方、制度についても知りたいです。（二年）

- ・日本にも置き換えられるところがあって理解しやすい内容でした。（二年）
- ・質疑応答でエクアドルを訪れる際には、生物の多様性を守るために食品などを持ち込まないことやエクアドル内で使うシャンプーにも注意が必要だとわかりました。（三年）



※講義に関して多くの生徒が英語で Denisse Ramirez 先生に質問していました。

### 編集後記

今回は、第1回目のSRtimesの作成であったため、わからないことが多々あり作成において苦労した。だが、学んだことも多くあったので結果的には、今回の講演会でこのような役割を担うことができよい経験ができたと思っている。そしてまた英語への接し方も少し理解できた。